Creative Enzymes®

ネイティブラットヒスタミンN-メチルトランスフェラーゼ

Cat. No. NATE-0898

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	(HNMT)は、ヒスタミンのn-メチル化を触媒する酵素であり、次のように反□します: ヒスタミン + S-アデノシルメチオニン ------> (SAM)メチル化ヒスタミン。このメカニズムは、S-アデノシルメチオニン（SAM）からヒスタミンへの活性メチル基の移動を含みます。ヒスタミンはほとんどの哺乳類の組織に存在し、HNMTは哺乳類におけるヒスタミンの不活性化を担当する酵素です。メチル化はヒスタミン代謝の主要な□路です。HNMTは放射性酵素法を用いてヒスタミンを測定するために使用されてきました。HNMTはラットの腎臓から精製されました。分子量は33,400で、pH最適値は8.00-8.25です。また、ラットの腎臓に非常に似ているように見える牛の腎臓からも精製しました。
別名	ヒスタミンN-メチルトランスフェラーゼ; HNMT; EC 2.1.1.8

製品情報

種	ラット
由来	ラット腎臓
形態	フリーズドライパウダー
EC番号	EC 2.1.1.8
CAS登□番号	9029-80-5
分子量	33.4 kDa
活性	50-100 U/mg
最適pH	8.00-8.25
単位定義	pH 8.5、37°Cで1ナノモルのヒスタミンをメチルヒスタミンに□換する酵素の量（1時間あたり）。

保管・発送情報

安定性	-20°C (-4°F)で保管してください